

## 会 議 録

会議名	第1回 飯塚市協働のまちづくり推進委員会
開催日時	令和3年2月24日（水） 14:00～15:15
開催場所	立岩交流センター2階 第4・5・6研修室
委員（15名）	貞清委員、田中委員、中村委員、上野委員、田代委員、渡辺委員、吉田委員 白瀧委員、尾方委員、岡松委員、真隅委員、藤川委員、成木委員、松田委員 松岡委員
事務局職員	【市民協働部】久家部長 【まちづくり推進課】小川課長、高橋課長補佐、垣内係長、緒方
【会議内容】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 委嘱状交付</li> <li>3. 飯塚市長挨拶（市民協働部長代読）</li> <li>4. 自己紹介</li> <li>5. 委員長、副委員長選出 『飯塚市協働のまちづくり推進委員会規則（飯塚市規則第15号）』第5条第1項に基づき、委員の互選によって貞清委員長、白瀧副委員長に決定。</li> <li>6. 議題</li> <li>7. その他</li> </ol>
【議題】	(1) 会議及び会議録の公開について
委 員	本委員会の会議及び会議録の公開について承認。
事務局	(2) 飯塚市協働のまちづくり推進委員会の概要、目的について 事務局より概要説明。
委員長	質問のある委員は、挙手をお願いする。
委 員	本推進委員会の具体的な仕事はどのようなものか。また、市としては条例施行後、まちづくりがどのように変わることをご想定しているかお尋ねする。 地域活動団体をどのようにして入れるのかについて質問したい。 また、本条例が施行され、推進委員会が設置されたことも、まちづくり協議会の総会において説明願いたい。
事務局	条例策定後、市民活動団体、地域活動団体の中で周知ができていない部分が

<p>委員長</p>	<p>ある。行政と地域活動団体、市民活動団体がより連携できる地域を目指して、全体のまちづくりを進めていきたいという趣旨で、本条例を施行している。</p> <p>コロナの感染状況踏まえながら今後、情報収集、情報発信等に努めていきながら、それぞれの活動団体等がつながり連携できる協働のまちづくりをさらに進めていきたい。</p> <p>協働とは、みんなで一緒にやっということと理解している。一緒にまちづくりを進めていく上で、いろいろな課題を確認しあい話し合うことになると思う。地域活動団体、市民活動団体だけではなく、市の補完としてもどうかという課題やアイデアを、この委員会で協議し、協働のまちづくりが成就していけばと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>既存の各地域のまちづくりを、この条例に基づいて活性化するという説明になっていない。私は自治会に加入しているが、まちづくりの総会には、会員ではないため出席できない。理想的な話し合いをしても、それをどのように反映するかが問題。推進委員がまちづくりの課題をどうやって見つけるのか。まちづくり協議会の総会等で、本条例、逐条解説の周知を行い、変えられるところは変えていくことが1年目としての第一歩。男女共同参画について、まちづくりの執行部、役員の中に女性が1人もいないところもある。条例の条文内容、推進委員会のことも含めて、周知する必要がある。</p>
<p>委員長</p>	<p>条例の周知、地域活動団体の総会のあり方、女性の参画という、まちづくりを進めていく上での課題の意見があった。条例の周知が、第一歩ではないかというご意見である。</p>
<p>委員</p>	<p>問題なのは、条例というものがなかったという事。各地区のまちづくり協議会の方々は、自助、共助、公助というものを判断しながら取り組んでいる。しかし、まちづくりそのものを知らない人が多い。まちづくりに関して徐々に浸透してきてはいるものの、今の段階で、住民1人1人に理解してもらうというのは難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>条例策定の際も、地域活動団体等、人権尊重、男女共同参画の視点に立って検討した。まちづくりについても、各地域によって課題は異なるが、推進委員会で提案、協議をして、前進していくように積極的にできたらいい。</p>
<p>委員</p>	<p>まちづくりの総会とかに出られないので、色々な問題提起ができない。自分の住んでいる地域で自治会の勉強をしながら、そこに反映させることはできる</p>

	<p>と思う。地域の役員に、条例や推進委員会の存在を周知できれば、発展的に取り組めると思う。条例が施行後、市民に十分な周知ができていない。まずは条例の周知、特に逐条解説について市民に説明して欲しい。女性である、私たちも頑張るので一緒にしっかり勉強をしていきたいと思いますという形をお願いしたいという思いがある。</p>
事務局	<p>来年度にかけ、周知していきたい。</p>
委員	<p>まちづくりという概念がばらばらで、いくつかニュアンスの違うシーンがあった。この委員会でも統一するということ、市民にそれを伝えるということ。この条例で何がどう良くなり、どう活動がしやすくなるか具体的に伝えていただくと、市民は、この条例は良いという風になっていくと良いと思った。まちづくりの課題が把握できていないので、共有認識できたらいい。事務局の方で、参考になる情報提供いただくと、議論が進むと思う。</p>
委員長	<p>協働のまちづくりの概念を共有させていくことも、この推進委員会の大きな議題になるのかと思う。この条例によって何が変わり期待されるのか、また課題を共有していくことが必要。</p>
委員	<p>地元の若者が他県の大学に行ったままなので、そういう若者が戻って来るような動きができたらと思う。</p>
委員長	<p>これから若者の参加参画ということも一つの課題と思う。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて説明。 来年度の予定については、6月から7月にかけて第2回、10月に第3回、令和4年2月に第4回を開催予定としている。令和4年度も同様。</p>
委員	<p>スケジュール案について異論なし。</p>
委員長	<p>来年度から本格的に審議できればと思う。</p>
【閉会】	<p>第1回飯塚市協働のまちづくり推進委員会を閉会する。</p>
【公開・非公開の別】	<p>1 公開 (傍聴者 2人)                      2 一部公開                      3 非公開</p>